

持続可能な魅力ある水源地域を目指して

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

選 奨
土木遺産

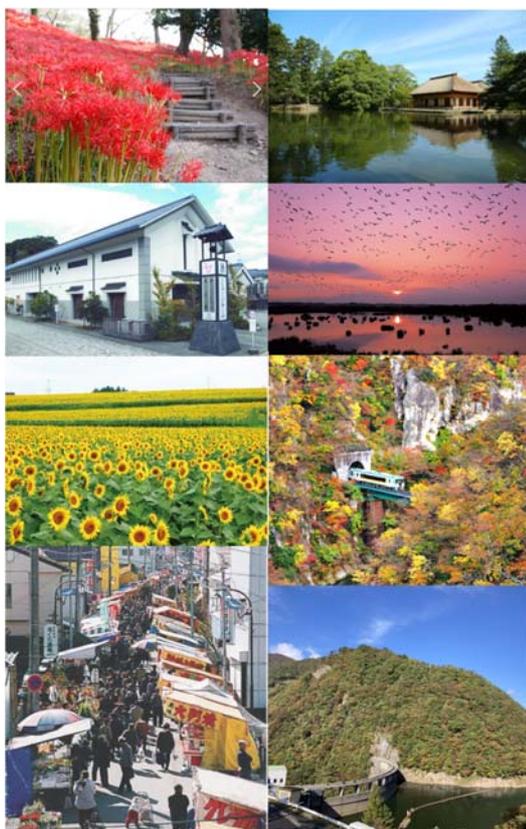
鳴子ダム

日本初のアーチ式コンクリートダム

日本人技術者だけで建設された

令和6年6月12日

宮城県大崎市長 伊藤 康志



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



大崎市公式キャラクター
「おつちさん」

個性豊かな1市6町が合併

大崎市

古川市/松山町/三本木町
鹿島台町/岩出山町/鳴子町/田尻町

人口 | 123,083人 面積 | 796.76km²
(R6.4.1現在)

湯を守り 伝統を受け継ぐ

鳴子温泉郷



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

経済産業省認定「伝統的工芸品」

鳴子こけし 鳴子漆器

環境省指定「国民保養温泉地」

10種類のうち
7種類の湯が湧き出る。

全国こけし祭り

伝統を未来へとつなぐプロモーションビデオ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

鳴子ダム管理所展示室でも放映中！

江戸時代後期から受け継がれる技と心

伝統継承「鳴子こけしと鳴子漆器」

温润柔和
朴素可愛

伝統工芸 鳴子木芥子

繁体字版

▶鳴子ダム管理所撮影

YouTubeで公開中！



インバウンド対応 ▶ [英語・繁体字・簡体字・韓国語]多言語版も制作

| 2017年 世界農業遺産 認定



持続可能な水田農業を支える「大崎耕土」の伝統的水管理システム



大崎耕土
世界農業遺産



OSAKI
KOUDO
GLOBALLY IMPORTANT
AGRICULTURAL
HERITAGE SYSTEMS

東北初の認定！ 選奨土木遺産

外国の技術者を招かずに日本人の技術者だけで建設された初めての本格的100m級アーチ式ダムであることを評価いただき、平成28年選奨土木遺産に認定されました。

「鳴子岬地域づくりネットワーク」のみなさんが中心となって、官民一体の運動を展開し、認定に大きく貢献いただきました。



鳴子ダムは、インバウンド需要に貢献できる持続可能な観光コンテンツ





鳴子ダムの水源地域

地域が誇る歴史と文化
雄大な自然環境資源を活用した取り組み



森とあそぼう！（木登り体験）



イワナのつかみ取り大会



環境学習イベント あつまれ！ 鳴子ダム2023

木工教室, ダム湖ツアー, 木登り体験, 蜜ロウソクづくり, スナッグゴルフ(初心者用ゴルフ), イワナのつかみ取り大会等

主催 | 鳴子ダム「森と湖に親しむ旬間」
行事実行委員会

協力 | NPO法人鬼首山学校協議会/鳴子漁業協働組合/宮城北部森林管理署/東北電力(株)宮城支店/電源開発(株)火力エネルギー部鬼首地熱発電所/鬼首地区公民館/鳴子ツーリズム研究会/宮城県北部土木事務所/宮城県大崎地方ダム総合事務所/大崎市/鳴子ダム管理所



豊かな地域資源に着目し新しい滞在の形をつくる 鳴子温泉もりたびの会

鳴子温泉地域を中心とする、異業種の多様なメンバーで構成する協議会

鳴子ダムをはじめ、鳴子温泉地域の豊かな自然に着目し、自然、文化、環境をテーマに魅力ある観光コンテンツの開発と、その事業化に向けて取り組まれています。

パックラフトとは
軽量コンパクトになる折りたたみ式ボート



湖面利用でしか見られない
鳴子ダムの景色



鳴子温泉地域の有志で結成

SUPで鳴子ダムの魅力を
発信する！

SUPとは

「スタンドアップパドルボード」の略で、近年人気のウォータースポーツアクティビティです。サーフボードのような表裏のあるボードの上に立ち、専用のパドルで水面をかきながら進みます。



お客様の心に残る体験を
一般社団法人

みやぎ大崎観光公社

鳴子ダムの普段立ち入れないエリア
をご案内するオリジナルツアーを提
供しています。

交流人口の拡大を図り、子どもたち
に誇りを持って継承できる地域づく
りに貢献しています。



2022年8月に認定されました！

日本夜景遺産

第17回「日本夜景遺産」において、鳴子ダムが「ライト
アップ夜景遺産」の部門で認定されました。
これを契機に、鳴子ダムの有効活用により鳴子温泉
郷の活性化を目指します。

伸びしろポイント

想像を超える反響があり、大変な交通渋滞を引き起
こしました。現在は、お客様の安全を最優先に開催を
見合わせ、安全に運営できる方法を模索中です。





鳴子ダムの水源地域

持続可能な魅力ある水源地域に向けて



鳴子ダム
地域水源ビジョン



大崎市産業振興計画
大崎市観光振興ビジョン

加速する人口減少、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応等を踏まえて
訪れたくなる観光の振興を重点プロジェクトに位置づけています。

観光客の多様化するニーズへの対応と環境整備

観光コンテンツの充実と滞在交流型観光の推進

魅力の発信と情報発信力の強化 など

令和6年度より観光シティープロモーション担当を配置し、重点プロジェクトの推進とインバウンドへの対応を強化しています。

持続可能な魅力ある水源地域を目指して



持続可能な魅力ある水源地域は、流域のみなさんと共に取り組む課題です。地域経済や環境そのものへ還元する好循環を流域のみなさんと共に創造し、持続可能な魅力ある水源地域を目指し続けます。

ご清聴ありがとうございました。
大崎市へのお越しをお待ちしております。

